

1 検 体

ホタテ貝殻焼成水溶液

2 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 試験液の生菌数測定結果

試験菌	対 象	生菌数(/mL)				
		開始時*	1分後	5分後	15分後	30分後
カンピロバクター	検 体	3.7×10^7	<100	<100	<100	<100
	対 照	3.7×10^7	4.7×10^7	3.9×10^7	3.5×10^7	3.5×10^7
大腸菌 (O157:H7)	検 体	9.7×10^5	3.9×10^5	20	<10	<10
	対 照	9.7×10^5	—	—	—	9.2×10^5
サルモネラ	検 体	7.5×10^5	1.4×10^5	<10	<10	<10
	対 照	7.5×10^5	—	—	—	7.8×10^5
黄色ブドウ球菌	検 体	6.7×10^5	2.2×10^5	1.5×10^3	10	<10
	対 照	6.7×10^5	—	—	—	6.7×10^5
腸炎ビブリオ	検 体	4.1×10^5	<10	<10	<10	<10
	対 照	4.1×10^5	—	—	—	4.5×10^5

<10及び<100：検出せず

対照：精製水(黄色ブドウ球菌は生理食塩水，腸炎ビブリオは3%塩化ナトリウム溶液)

保存温度：25℃

—：実施せず

* 菌液接種直後の対照の生菌数を測定し，開始時とした。

以 上

1 検 体

ホタテ貝殻焼成水溶液

2 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 作用液のウイルス感染価測定結果

試験 ウイルス	対 象	log TCID ₅₀ /mL ^{*1}					
		開始時	15秒後	30秒後	1分後	5分後	30分後
ネコカリシ ウイルス ^{*2}	検 体	5.7	<1.5	<1.5	<1.5	<1.5	<1.5
	対 照	5.7	—	—	—	—	5.7

TCID₅₀: median tissue culture infectious dose, 50 %組織培養感染量

開始時: 作用開始直後の対照のTCID₅₀を測定し, 開始時とした。

対照: 精製水

作用温度: 室温

<1.5: 検出せず

—: 実施せず

*1 作用液1 mL当たりのTCID₅₀の対数值

*2 ノロウイルスの代替ウイルス

以 上